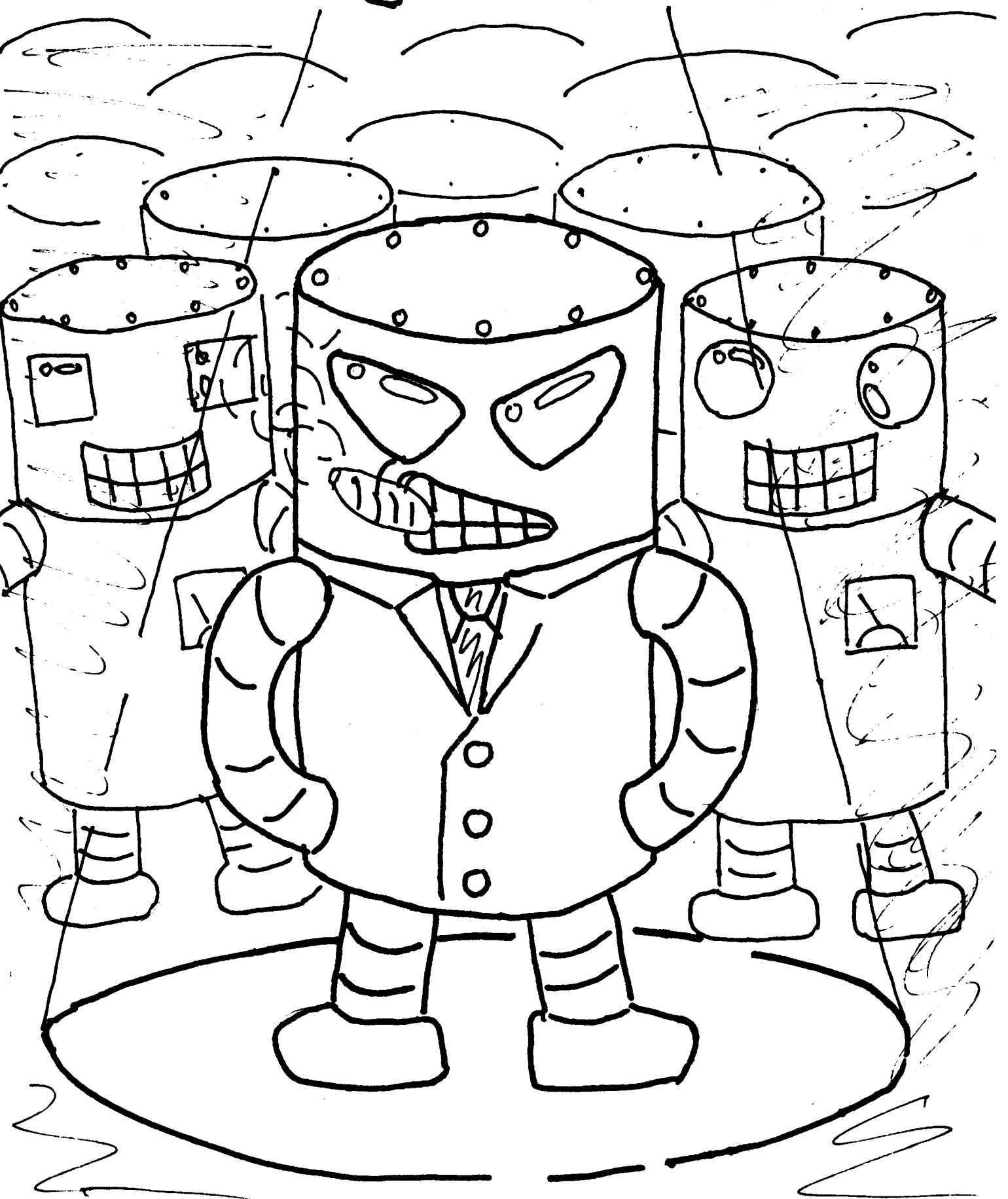


# カチンコ



## 新入生へ 4年間たのしんでね！

システム情報工学研究科 キム 洋史

さて4月に入学し、楽しい大学生活を送っているのかな！俺は最高(!?)の1年生生活を送っている！では今年度もいい映画にふれあおうではないか！

### 「月光の囁き」

塩田明彦、水橋研二、水橋研二、つぐみ、草野康太、井上晴美

結構変態というか、やらしいなあ。理解の難しい作品の一つ。つぐみすげ〜

### 「蒲田行進曲」

深作欣二、平田満、風間杜夫、松坂慶子

少し前の映画撮影所のドラマ。ついつい画面から目が離せなかった。故郷に帰った駅はあれはJR山陰線「保津峡駅」である。中学生のころ遠足で行った覚えがあった。でてる俳優今ではみんな有名だなあ。昔の平田満と風間杜夫を見れるのがよい。

### 「くりいむレモン」

山下敦弘、村石千春、水橋研二

兄弟愛??? 純粹にからんでいました。見終わった後の感じは良くなかった。

### 「東京マリーゴールド」

市川準、田中麗奈、田中麗奈、小澤征悦、樹木希林

最低な男と付き合うなーと思っていたが、最後はへへっと笑える終わり方でヨシ！内容は濃い話ではない。

### 「キッズ・リターン」

北野武、安藤政信、金子賢

北野映画はそんな好きじゃなかったけど、これはヒットした。全員成功しないというのも痛くておもしろい。地味に努力しむくわれた漫才野郎がいて救われた。

### 「ブラックホーク・ダウン」

リドリー・スコット、ジョシュ・ハートネット、ユアン・マクレガー

ソマリアでの内戦にアメリカが介入したから無茶苦茶になったと言われている。その実情とは一体なんだったのだろうか？ソマリアは国連平和維持軍にも宣戦布告をしところである。アメリカの視点から見たソマリア介入。

### 「シルミド / SILMIDO」

カン・ウソク、ソル・ギョング、アン・ソンギ、ホ・ジュノ、チョン・ジェヨン

なかなか見ごたえのある映画である。内容が歴史的ないようなので俺にヒットした。訓練シーンがやや多いが成長っぷりが楽しめる。ただ内容が悲劇的過ぎる。けど広告の1200万人が感動の渦に巻き込まれたは言い過ぎだ!!!

### 「パッチギ！」

井筒和幸

塩谷瞬、高岡蒼佑、沢尻エリカ、楊原京子、尾上寛之、真木よう子、小出恵介、波岡一喜、オダギリジョー、光石研

今年一番感動した映画である。いやーもう最高の青春映画である。日本の高校生と朝鮮学校との抗争の中で、色々

な高校生らしいイベントが多々ある。また映画の抑揚が素晴らしく、絶えず波があって、あきさせない作品である。むしろまだ終わらないでくれと絶えず思っていた。映画で泣いたのは生まれてから2回目である。

### 「1980」

ケラリーノ・サンドロビッチ、ともさかりえ、犬山イヌコ

何の作品だ！これは？ 生まれた年代の日本の話だとてっきり思っていたが、全然そんなことはなかった。なんとなく YMO の流れるラストシーンは気に入っている。

### 「キューティーハニー」

庵野秀明、佐藤江梨子、市川実日子

映画研究部の A BOY が見ないわけにはいかない作品。どちらかと言えばつまらない。内容もイマイチ。アニメの方がおもしろいんじゃないか？ サトエリのスタイルを眺めるぐらいの映画か？ けど頭弱そうだったなー。この庵野監督って人はアニメ界では結構有名らしい。

### 「(ハル)」

森田芳光、深津絵里、内野聖陽

「新しい恋愛の形」とパッケージには書いてありパソコン通信から始まる恋愛(会い)らしい。今流行の出会いサイトじゃねーか。内容は画面いっぱいメールの内容が何回も出てきて見ていて疲れる。つまらん。決して内野聖陽に妬いているわけではない。でも 出会いサイトなんて今問題ばかりじゃねーか、、、

### 「お葬式」

伊丹十三、山崎努

お葬式の3日間だけを描いたビデオ。僕はここのところお葬式に出たことがないので、そういえばこういうのだったなーと思い出しながらか見ていた。昔の山崎努が見れるよ～あんなことするなんて、、、はっはっは！

### 「東京原発」

山川元、役所広司、段田安則、平田満

結局は原発の危険性を訴える映画なのだろうか。基本的に会議室内のやりとり。元は舞台だったのかな？ それなりに面白い。

### 「玩具修理者」

はくぶん、田中麗奈、忍成修吾

1時間もない短い映画。なんだか不思議な映画だったな～ 子供のころを少し思い出せる、純粋な気持ちになれる映画である。田中麗奈の出てる映画をよく見ているが、決してなっちゃんマニアではない！！

### 「岸和田少年愚連隊」

井筒和幸、ナインティナイン

好きな井筒監督の作品。社工のある先生も岸和田出身だが、岸和田はほんまに無茶苦茶なところやなー。これを見ると自分は全うというか真面目な生活おくってきたなーと思う。

### 「閉じる日」

行定勲、富樫真、沢木哲、綾花、永瀬正敏  
やっぱりよく分からない？な作品。向き不向きが大きくありそうな映画だ。

### 「花とアリス」

岩井俊二

鈴木杏、蒼井優、郭智博、相田翔子、阿部寛、

平泉成、木村多江、大沢たかお、広末涼子  
最も俺が見そうにない映画。蒼井優か  
鈴木杏、どっちか迷うなあ、、、  
「めまいの  
するようなジェットコースタームービーと  
か超重量級の感動」とパッケージには書  
いてあるが、まるでそんなことはない。  
女の子(女性ではなく)が好きそうな映  
画である。男性にはそんなに向かない  
かな。でも萌え萌えしたい人には向い  
ているらしいね。

### 「美しい夏 キリシマ」

黒木和雄、柄本佑、原田芳雄、  
日本の田舎だなーと思う霧島での、太  
平洋戦争中の少年の身の回りの出来事。  
のんびりとした映画である。3部作で  
次に「父と暮らせば」がある。なんと  
なく反戦感のある。

### 「ガキ帝国」

井筒和幸、島田紳助  
内容はとくにない。大阪のけんかにあ  
けくれる青年達の映画。岸和田少年愚  
連隊のほうがよくおもしろい。昔の  
島田紳助は変な体格だ。暴力を振るい  
まくり映画。紳助は今でも振るって  
いるけど、、、

### 「海猿」

羽住英一郎、伊藤英明、加藤あい  
いい感じで盛り上がってきたのに、最  
後がありえなかった。これで一気に評  
価が下がったな～。漫画の方が断然お  
もしろい！筑波にも海猿の人がいたが  
、痛かったので、海上保安庁のイメージ  
は良くなかったが、これで良くなった  
かな？？？いやなっていない。(豆知識)  
加藤あいはなかなかすごい卒論を書  
いている。

### 「少林サッカー外伝」

ロー・ツアン・ファイ、ウォン・ヤッフ  
エイ、ウォン・ヤッフエイ、ロレッタ  
・リー  
やっぱり少林サッカーの方が断然お  
もしろい。これはすごいCGを駆使する  
のではなく、香港のある家族の夫婦喧  
嘩を描いた作品である。

### 「インファナル・アフェア」

アンドリュー・ラウ  
トニー・レオン、アンディ・ラウ、ケ  
リー・チャン、アンソニー・ウォン、  
エリック・ツアン  
久々におもしろい映画を見た。まさ  
に映画を見ている時間を忘れてしま  
う映画である。最後にハッピーエンド  
で終わらないところが良い。

### 「コンセント」

中原俊、市川実和子、村上淳  
怖い作品の1つ。怖い作品を見ると  
シャワーを浴びているとき目をつぶ  
るのが怖くなります。コンセントを  
通してエネルギーが流れる。こんな  
発想は僕には全く思いつきません  
でした。なかなか見ごたえがあった。  
特にセクシーシーン！

### 「うなぎ」

今村昌平、役所広司、清水美砂、  
倍賞美津子、市原悦子  
これでカンヌがとれるなんて、、、  
という印象が強い作品。もっと主  
人公の内面を描いてほしかった。そ  
して主人公の周りの人たちが優し  
すぎないか？あと主人公に手紙を  
出したのは誰なんだ？？？

### 「インファナル・アフェア 2」

アンドリュー・ラウ、アラン・マック、  
エディソン・チャン、ショーン・ユ  
ー  
前作の内容を補完するような作品。前  
作の衝撃がすごかったので、それを  
上回ることはできなかった。

### 「ひみつの花園」

矢口史靖、西田尚美、利重剛

矢口監督の2作目らしい。久々のヒット作。お金のためにか！？ 勉強に、水泳に、ロックライミングにがんばれる姿が気持ちいい。西田尚美のファンになっちまったぜ。彼女はもうover30。まだまだいけるなあ、..

### 「完全なる飼育 赤い殺意」

若松孝二、大沢樹生、伊東美華、佐野史郎  
今までの作品とは違う流れ。テンポがやや早過ぎないか。あとストーリー性がいまひとつ。変態の佐野史郎が良い。

### 「ジョゼと虎と魚たち」

犬童一心、妻夫木聡、池脇千鶴

確かにおもしろい。けど終わり方に全く納得のいかない作品である。あと妻夫木のキスが長すぎる。舞台は大阪なのに、大阪ではまず見られない看板があったりして、その辺がなめている作品である。最後の撮影現場を見たら東京やー。景色からして場所は東大阪だろうと思っていたのに、..

### 「ごめん」

富樫森、久野雅弘、櫻谷由貴花、三田篤子、河合美智子、國村隼

意外と good。関西が舞台なのと関西弁が良い。小学生の頃のこういう気持ちを大事にしたいなあと思わせてくれる作品。

### 「ナビィの恋」

中江裕司、西田尚美、平良とみ、登川誠仁、村上淳

西田尚美が良かった！ 沖縄のある島のほのぼのとしたお話。なぜ彼女は東京から帰ってきたのかが気になるなあ。ある社工の先生が三線好きだから、なんと

なく複雑な気分で見えていた。沖縄古典芸能発表会を去年の春亀有まで見に行ったのを思い出した。

### 「みんな～やってるか!」

北野武、ダンカン、左時枝、小林昭二、ビートたけし

くだらない映画だ。でも少しは笑えるかな。落ちがよめるのがいいのかな？？？俺もやってるぜ！！！！

### 「竜馬の妻とその夫と愛人」

市川準、木梨憲武、中井貴一、鈴木京香、江口洋介

歴史的にありえあい。そのため魅力が半減した。気楽に見るのにはいいかもしれない。

最後に毎度長くてすいません。でもこういうのって書き始めたらとまらないのが俺の性格なんだな～。1年生へ。大学では何かやったというものをぜひ作ると良い大学生活を送れるのではないだろうか。その選択肢として映画研究部は微妙ですが、良い仲間、そして良い映画を知るためにも入るのはそこまで悪くはないだろう、..

ちなみに私はテレビを見ない。くだらねえテレビを見ているなら映画を見ているほうがよっぽど良いからだ、また1週間の生活リズムは映画を見て回している。学校帰りにアルファで借りて帰って見て寝るというリズムで。それではレンタルビデオ屋であつたらよろしくね！！！！

あと本当のおすすめ映画は「大脱走」「U ボート」「スパイゾルゲ」などである。これらは俺は見飽きた。1年生にはぜひ見てもらいたい！！！！！！

<http://infoshako.sk.tsukuba.ac.jp/~kimura11/ei-ken02.html>





## 映画と絡めているんな話をしてみませんか。

社会2年 日下部裕香

みなさん、こんにちは。カチンコ新入生勧誘号でございます。4月、春ですね。新学期も始まり、忙しいっちゃ忙しいんですが意外と暇です。こう...急にね。ポカンと。新勧委員なのにあまり動いてませんが、そんなわけで映画はよく観ているのでせめてカチンコは頑張っておこうと思います。新入生いっぱい入るかな、ワクワク。新入生入ったら意味なくみんなで遊んだりしたいですね、花粉症もおさまってきたし。とか書いてアグレッシヴ感を煽ってみたり。では最近のお気に入り映画紹介にしてみました。

### しあわせな孤独 2002 デンマ - ク 監督 スザンネ・ピエ - ル

「あなたが孤独を感じているなら、すでに幸せも知っているはず」  
というコピー - に惹かれて観たんですけど、最初の1分間で心を奪われてしまいました。デンマ - ク映画を観るのは久々でしたが、侮れない、デンマ - ク！！

#### STORY

セシリとヨアヒムは結婚直前。しかしヨアヒムの突然の交通事故により、全てが崩れてしまう...。悲しみに暮れるセシリはその事故の加害者の夫であるニルスと知り合うが、やがて彼と関係を持つことに。ニルスには勿論家庭があるが(しかも家族想いの良き夫、良き父)セシリに強く惹かれていく。一つの事故によって4人の人生が大きく変わり始めようとしていた...

#### 感想

いきなりですが、私ドグマ映画って苦手なんです。ドキュメンタリ - っぽいのも。だからデンマ - クものは避けてたんですけど、この映画で変わった気がします。視線とか指とか、切り取り方がすごくまくて、わざと粒子の粗い画像で、意識の中で目を閉じたり、動かないはずの手で触れられたりするのを映し出したり。だから登場人物のそれぞれに感情移入しやすく、どのシ - ン見ても胸が痛みます。だからといって、セシリがニルスを呼び出して「動かないで」って言ってギョってするシ - ンがあるんですが、正直そのギョまでは分かる。人肌恋しくて、一人であることに慣れてない孤独。でもさ、その先って...それでいいの!? みたい。寂しいのは分かるけど、別のひとじゃん。そういう感覚は「その人」じゃなきゃダメなんじゃないのかなあ。って、そこはいまいちよく分からないのですが。経験豊富な方、教えていただきたい。そうなりたいわけじゃないけど、分かるようにはなりたい。経験からしか学べないようなことの気もするけど。分からないついでにもう一個。なんで結婚なんかするんでしょう。なんで? ? いや - 分かんない。子供を愛して大切にしたいのと奥さんといて安らぎを感じるのと好きな女性と一緒にいたいって思うのはやっぱり違うの? それは昔奥さんにも感じてたドキドキと同じ感情なの? 変わっていくものなの? 結婚も制度なんだから、なんのために結婚するのはその夫婦の間でそれぞれ決めなかったら意味ないですよ。結婚に

よって生じる「責任」とか、それに伴う覚悟みたいなものは確かに大きいんだろうけど、だとしたら気持ちなんて縛れないものを縛ろうとするよりもっと確かな契約として認識すべきものってことでしょうか。私だったら一生他の人に心変わりしないなんて保障のないこと誓えない。いい加減な女って思われそうだけど、だってそう考えない方が浮気されたとき辛いでしょ？結婚してるからって、それを理由に相手の浮気を「裏切り」として責めたくはないもの。「体レベルでの浮気は許す。けど浮気相手への気持ちの方が強かったのなら離婚。子供がいた場合、子供には絶対バレない様にして、生活共同者としての責任は果たすこと。経済管理は…」とか、それくらいのことは明文化しといて損はないのでは。実際そういうことするってなるとヒキそうだけど、そゆとこ、ドリマ - になりきれないんです。あたし。だって嘘の上で成り立ってる幸せなんて欲しくないもの。式場にこだわってうかれる花嫁達はそ - いうとこ、どうお考えなのかしら。あ、だから逆にね、結婚をイベントとして考えてるならイベントとして成立させればそれはそれで面白いと思うんです。ちゃんと意味あるものになるでしょ？杉田かおるは「結婚するなら5回以上。バツ2くらいだと性格破綻者みたいだけど。5回までいくとなんか車の買い替えみたいな感じで楽しいじゃない」って言ってました。そういう潔さ、好きです。勉強になりますわぁ。

関係ないけどデンマークって何語圏なんですかね？響きがすごく日本語に似てました。「ない」って字幕の時、普通に「ナイ」って発音してた。気になる！ニルス役のマッツ・ミケルセンはポ - ル・ベタニ - 系のインテリ美系でかっこいい!!これ大事。あと、ブチッというシ - ンのつなぎ方とか、音楽(これがまた印象的でいい曲。)が突然切れたりするのが多いのも好き。

ニルスが最後、セシリに「どちらにしろいずれこうなる運命だったんだ。後悔はしてない」って言うんですが、それは今後彼女がどんな選択をしても受け入れるよってことを言いたかったのかも。負担に感じさせないためにね。個人的にはこの後二人にうまくいって欲しいと思ったけど、その前にセシリは冷静に考えるための、そして、甘えて誰かによりかからないための孤独を、ニルスは家族を捨ててしまったことでうまれた拠り所のない孤独を、大事に受け止めておかないと。夫がいないこれからの人生を、子供に依存せず強く立ち直るための孤独。自分の意固地さも恋人の気持ちも受け止めたうえで、自由に動かない体で生きていく孤独。でもそれらはみんなきつと、あたたかい孤独。これから先生きてくために必要なもの。人間ちょっと位淋しくて当たり前なんだもん、そう思わせてくれる映画でした。「事故が起こっても、人生は続くんだ」という台詞がありましたが、事故や別れといったよくあるテ - マを、感傷やドラマチックな展開に流されずリアルに描いているのが秀逸です。

**突然ですが、テーブルで向かい合うシーン勝手に BEST3  
(DATE AT RESTAURANT)  
NO1 パンチドリンク・ラブ**

鮮やかな赤い服を着たりナと、同じく鮮やかな青いス - ツを着たバリ - 。男女をこういう色使いにするのは仏映画に多いらしい。これは米ですが、すごくキュ - トで色彩が綺麗な映画です。

NO2 マグノリア

あ、これも1と同じくボ - ルト - マス・アンダ - ソン監督だった、と今気付きました。初めてのデ - トでそわそわする弱虫警官とヤク中の女の子。お互い「嫌われたらどうしよう」って不安で動揺 で、いきなり「Do you wanna kiss me, Jim?」「Yes, I do」って流れて二人とも立ち上がってキスっていう「突然演出」好きです。恋の始まりのドキドキ感が！！そういえば1のパンチドランクでも似たような演出ありましたね。なんだかんだでセンスの良いメロドラ、みたいのが好きらしい。

NO3 しあわせな孤独

レストランでプロボ - ズ！！って言っても男の人、ちょっと性格が悪趣味なんです。ていうかS。だから指輪出してプロボ - ズしとして「やっぱり今日は酔ってるからやめよう」って、女の子から指輪を取り上げようとするのね。当然女の子が戸惑うと「欲しい？」って。ずるい。けどそこで上目がちに「いけない...？」って返し方をする女の子がまたかわいいんだ!!なんて幸せそうに笑うんだろうって思いました。とにかく主人公の女の子がかわいく映ってます。

## エタ - ナル サンシャイン 2004 アメリカ 監督 ミシェル・ゴンドリー

最近映画館でちゃんと観た映画といったらこれ位なのですが(あ、嘘です。昨日弥次喜多観てきました)、すっごく良かったです。予告とかポスタ - がPOPな感じだったので全然気構えずに観てたんですけど、脚本チャ - リ - ・カウフマンでしたね。忘れてましたあ、ただのべたべたなラブスト - リ - な訳がない！

### STORY

恋人と別れた後、その恋人に関する記憶を消す手術を消す手術を受けたクレメンティン(ケイト・ウィンスレット)。その「元カレ」であるジョエル(ジム・キャリ - )はそれを知って「じゃあ自分も！」と同じく手術を依頼するが...？

#### 観ててちょっと気になったこと

ジム・キャリ - ももう年なんだよなあ。肌が違うぜ...。アメリカって職場であんなイチャついてていいものなの？クレメンティンの髪色きれい。痛みそうだけど(これは全部カツラだったそうです)。私もウィッグ欲しい！服を取り替える様に髪型・髪色も毎日変えたいの！

ていうか原題「Eternal Sunshine of the Spotless Mind」で長っ。

映像遊びがすごく多くてミシェル・ゴンドリー - っばい - !!!って思いました。本当。楽しかったです。でもあたしは泣きまくりだったんですけど、一緒に観たイトコは「なんだ、結局言いたかったのはそんなことかよ」って言ってました。好き嫌い分かれる映画みたい。恋したいっって思いました。

## 三月のライオン 1991 日本 監督 矢崎仁司

ここで一つ邦画も。映研に入ってから邦画を観ることが多くなりました。

### STORY

兄と妹がいた。

妹は兄をととても愛していた。

いつか兄の恋人になりたい、と心に願っていた。

## ひとりごと

ある日、兄が記憶を失った。

漫画家の小野塚  
カホリさんも  
この映画好きみたいです。

妹は、兄に恋人だと偽り、病院からつれだす。

私、彼女の作品好きなんですけど、  
たまたま好きな人とか物  
達が

記憶喪失の兄は、恋人だという女と一緒に暮ら

知らないところで繋がって  
たとかって

し始めた。

嬉しいで  
すよね。  
カホリさんが寺山修司  
好きだって

そして兄は恋人を愛した。

知ったときもワクワ  
クだった -。  
あとはミッチ - がシカオちゃんと友達だ  
って知った

恋人の名はアイス。

ときとか、あ、超関係ない話で  
した。

氷の季節と花の季節の間に三月がある。

三月は嵐の季節.....

という始まり方をするこの映画。淡々としてます。兄の名はハルオ。主演の女の子の奇抜な行動や露出の多いファッションもメイクも、ベティ・ブル - (\*)に似てる。っていうか意識してると思う。ハルオが怪我して、いそいで帰ってくるとアイスも怪我してたってシーンがあるんですけど、痛みを絡めた話は嫌いじゃないし(花と蛇とかそういう話ではない)。ちょっと汚れた血(\*)みたいな匂いもします。あ、どっちもフランス映画です。でも音楽は笛だし、全然フランスっぽい訳じゃないんですけどね。不思議な空気を持った映画です。建物を壊す仕事に就くハルオ。いつ壊れるか分からない生活。いまにも壊れそうな女の子...。正直に言って私はこの映画を理解出来てないと思うし分からないと思うけど、それでも好きです

\*ベティ・ブルー

1986 仏 監督 ジャン・ジャック・ベネックス

激しい愛に、みずから傷ついてゆく19歳のベティ(ベアトリス・ダル)と、そんな彼女の全てを愛し、受け入れようとする35歳のユング(ジャン＝ユ・グ・アングラ - ド)。共感しがたいですが、感じるものは大きい。けど嫌いな人にはとことん嫌われるタイプの映画な気がする。楠本まきさんのマンガ「致死量ド - リス」もこれに近い匂いを持っています。

\*汚れた血

仏 監督 レオス・カラックス  
内容よりタイトルの方が好き。

上映会、観たことあるのが「1980」だけなので楽しみです。1980は「大人になればオトナになれると思ったら大間違いだからね！大人になったってオトナになんかなれない

んだからっ」て台詞が好き。村上春樹の小説「ダンス・ダンス・ダンス」の中で五反田君は「僕は昔は人間というものは一年一年順番に年をとっていくんだと思ってた。でもそうじゃない。人間は一瞬にして年をとるんだ。」と言ってます。「就職するまでは子供でいたいのが」と誰かさんは言ってましたが、せめて毎日学校に行く位にはオトナにならなきゃな、と思っている今日この頃。日下部裕香でした。

タイトルで「話をしてみませんか」と言いながら結局一方的に主観で語っていただけでございます。しかし映研で、直接貴方とそんなとりとめもない話がしたいのです。長々と書いてきましたが、これを読んで下さっている新入生の方々、興味をもたれたらまずはミ - ティングで会いましょ。

## カチンコ~

工シス2年 山口智也

なんとなく、2年になりました。こんなダメ人間でも2年生になれましたお父さんお母さん。そして、今年はエイケンに沢山の新生入生が。4月ですね~。つまり、さくらってつければなんでも売れると思ってCDをだすそんな季節です。

先に述べておくと、僕は確実にエイケン内で一番映画を観ていない。しかも、最近自分の各映画がだいたい前号に他の人が書いてることに気づき、自分の存在意義を疑う始末。何を言いたいかというと、ロボコンサークル新歓の為、ロボを一台仕上げねばならず、夜な夜な2時ごろまで作業をしては、学校に遅刻する(しかも、3限あたりで)1日。つまり、行動時間がキャバ嬢とおなじ。映画なんて観る時間がないのですよ。じゃなんでエイケンにいるのさ。

## ~ラスト・サムライ~

外人が今の日本をこうだとは思ってないだろうけど、先入観からかどうしてもこうあって欲しいのだろう。そんな映画です。

## ~APPLE SEED~

アニメで有名な攻殻の原作者、士郎正宗の同名コミックをフルCGアニメ化。人がきもい。邦画の資金とCG技術だとそんなもんなのかもしれない。オープニングのガトリング装備の装甲車がよいです。僕は昔からバリバリ撃つものが大好きです。でもやっぱ、強化外骨格だよ。攻殻にもできるけどいいな。メカ好きとしては1機欲しい。

## ~CASSHERN~

映像がすごかった。宇多田の夫が監督だったと思うけど、素人目でみても映像の方向性はtravelingのPVばい。結末のほうではそんなわかりきったこと言われても思った。この映画はメカがまたまた良くて、ちょっとレトロなりベット打ちの機械が燃費悪そうにがちゃがちゃ動くのは大好きです。イチオシは終盤に出てくる大型爆撃機ですね。私が電話をかけているということがどういうことか理解できるな?といわれているシーンのあれです。あのいっぱいいっぱい飛んでる感じがすごくいいです。

## ~ヴィドック~

フランス革命期のパリを舞台にした、ホラーサスペンス。これもなかなか癖のある映像ですが、あのやけに空が曇って暗くて陰湿なパリは当時をよく再現しているのかもしれない。フランス革命の時期のパリはナポレオンが大改造して現在にわりと近い形にする前だから、道は狭いし入り組んでるし汚いという中世の町をそのまま大きくしたようなも

ので、入り組んだ路地のおかげでバリケードで封鎖しやすく革命成功の一因になったわけです。ちなみに改造後はバリケードを作ってもすぐ後ろに回りこめるような区分けにしたそうです。話がそれましたが、鏡の仮面をかぶった連続殺人鬼をヴィドックという探偵が追っていたがヴィドックも殺されその伝記作家がその正体を探るといのがはじまりで、殺人鬼は錬金術師(いい響きだ。僕も一度錬金術師になりたい。)なのですが…。いろいろ伏線があっっておもしろいです。

### ~ ROAD TO PERDITION ~

戦間期のギャングもの。トム・ハンクスのやつです。抗争で家族を殺され、一人残った息子との逃避行。カボネの下っ端とかがでてきます。最後のほうとかはやっぱいな...っていう感じはしますが、締め「彼は僕の父でした」はこれを見おわったあとにはいい言葉だと思う。もともと、こういう20世紀前半が舞台の映画は好きです。戦間期の人たちが何を考えていたのか知りたいというもあるのですが。

トンプソン M1921が光ってます。トム・ハンクスのもってるあれです。手間のかかる手にフィットする木製フォアグリップもいいけど、やっぱドラムマガジンがいいな～。なんだかゴットファーザーを観たくなりました。

### ~ ヴァンヘルシング ~

今年の新歓上映会でも流すらしいです。なかなか速い展開でおもしろかったです。やっぱり19世紀はいいですね。なんというか中世的なものと同代的(19世紀は近代ですが)が融合しててよいです。19世紀ブームとかこないですかね。

ヴァンヘルシングがアンダーテイカーとかぶってしかたなかった。そればかり気になってちゃんと観てなかったかもしれない。スマックダウンおわちゃったけど。

### ~ コラテラル ~

いつもとちがって、やけに渋いトム・クルーズが観れます。話はそれなりです。僕は暗殺モノは好きだからいいですが、やっぱりこれといったことはないです。なんていうか、去年はジェイミー・フォックスの年だったんだなと思いました。

### ~ ロストイントランスレーション ~

東京が舞台。大物ハリウッド俳優が仕事で来日した。ホテルで暇してるカメラマンの若い奥さんとであってなれない東京に行くという話しです。一応東京八王子出身なので新宿はよく行きます。出てきたところは大体わかったけど、いつも違和感なく歩いてた街がこの映画で観るととてつもなくいがかわしい場所に見えます。カメラから察するに外人にはあのネオンとかそんなに変に見えるんですかね？

たまにはこういう日常っぽい映画もいいです。僕は海外の街にすごく行きたくなった。

外国はいろんな発見があっておもしろいですよね。

締め

よかったよかった。観てないと思いきやそれなりに埋められた。そういえば前回か前々回にタクシー はあんまり面白くなかったとかほざきましたが、最近テレビでやったのでもう一回観たら、ばっちり面白かった。やっぱり、調子の悪いときに(しかも深夜)観ちゃいけないですね。最近を受験で見られなかったあたりの洋画は大体観終わったので、そろそろ邦画にうつろうかと思ってます。手始めにデビルマンからいこうと思ってます。これを観なくちゃ始まらないですよやっぱり。

ぜんぜん関係ないですが、僕は体の約 25%はスパゲッティーでできています。なぜなら、面倒だからです。はじめて、和風きのこを試してみたのですが、これがあからさまに不味い。こんな不味いのは海外で砂糖菓子(あからさまにアメリカアニメの MIB とかタートルズにできそうな不味そうなお菓子。ある意味確信犯的に買った。)とサンドイッチ(見た目は無害そうだったがドレッシングらしきものがひどい)を食べた以来だ。これはいただけない。

144:1 自然二年木村

どうも初めまして。新入生の方ですか。入学おめでとうございます。大学生活をエンジョイしていますか。キャンパスライフを謳歌していますか。余計なお世話ですが、ちなみに「カニコ」ってのは映画研究部で出している映画紹介誌です。あ、知っていましたか。余計なお世話ですが。とりあえず、一応自己紹介します。フルネームは木村一貴 映研では通称カズです。あ、もしあの人ならこの際カズって呼んでもよいです。「我が流法は「光」!!輝彩滑川の流法!!!」ま、何でもいっや。とりあえず、何か映画も紹介します。私は多くの映画を紹介できるから期待するのは無駄ですよ。

『大霊界～死んだりどうなる?～』 監督 丹波哲郎

あ、死んだりどうなるんですね。という映画。交通事故で死んでしまった学者のタカシを中心にして霊界の事を悟す様に、丹波哲郎がどどどと語り続けます。この人、本当 頭の中「天国だ」と。何でも 死の瞬間 → 幽体離脱 → 精霊界 → 霊界 → 天界層 色々流れて死ぬらしい。霊体は想念で話し合うから、言語は必要ない。人間界で持っていた障害などをなくなるそうだ。だから、勿論、犬がいきなりしゃべったり、足の悪いお爺さんが腰伸ばして歩くなんてのは茶飯事なのだ。じゃあ、自殺しようと思った安易な貴方、丹波さんは自殺が一番いい、と

言っています。自殺して霊界に入った者は、千年万年もほとほと身動きがとれず泣き叫び、後悔するそうです。怖いわ。

霊界は11つかのゾーンに分けられ、波長の合う者同士で集まるんだそうだ。その場所が幸福な世界か、地獄かは生きている行いで決まるんだと。うたは、気をつけてもらうね。劇中でのタカシさんの着いた村は、皆で笑ながら、「バカ～オア、ホ～♪」と歌いながら今までの平和な村でした。怖い。

こんな感じの霊界の話で、アロマチックみたいなBGMと、昔々の性教育が交通安全のビデオみたいな映像で、延々と99分。今、観ながらカニ

コ書いてたけれど、かなりキツイね。話がバカなんだもの。ま、流石は「神になるぞー!!」と叫んだ人の映画だ、と思いました。

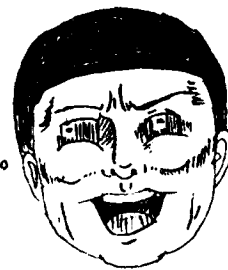
続編「大霊界2～死んだりおどろいた～」では少し趣向を変えて、ドラマ仕立てにな、っていました。稲川淳二の幽霊と、探偵の天使と、裁判官のさまとタモリとが出てきて、この映画何だ。ま、復学のために観てみるのもいいかもね。今日は180分くらいかな。怒られるかな。

ま、いっや。終り。

勝てばよからう  
ふんたあま女



アキラオシグカズ



余白に自画像を落す  
怖い

麗ら若き新入生の諸君、御入学おめでとうございます。GWも明けて、もう授業などサボタージツし始める頃合ですわ。え、どうでもいい？ あ、どうですか。こりゃまた失礼いたしました。さて、映画研究部、新歓上映会によること。冷やかしてもよいので、ゆくり観て行けばよいわ。ちなみに、普段の映研は毎週金曜日 6:30 から文芸館の二階、現視研の前の部屋で活動しているので、まあ冷やかに来たらよいわ。今週の上映作品は『死霊のはらわた』です。流石に題を見て「怖そ〜」とか言う人はまずいないと思いますが、ホラーの中でも分類としてはスプラッタ・コメディです。つまり、頭がホーンとぶっ飛んでくるから面白い、という映画です。こういう感覚はよく知りませんが、血とかそういう物を苦手としている人でも楽しく観れるはずなのです。つまり、首がホーンと飛んだり、鉛筆が踝にフサーッと刺さったりした時には「アハ」と笑うべきなのです。笑いましょうね。実は私が初めて観たゾンビ映画がこの映画だったのですが、また免疫のなかった当時の私にとって、トバーッと飛び散る血糊、肉片、激しい残酷描写の数々はまさに刺激的で痛快で、素敵な映像でした。「これからはゾンビ・エイジの波が押し寄せるな」と感じました。まあ、感じただけでいいけれど。この作品の続編は二つ「〜2」「キャピタンスーパーマーケット 〜3」ってのがあります。「〜2」は原作の続編とどうやらは、より、ティーン・チックにマンガチックに撮り直したリメイクチックな映画です。死霊に体当たりされてぶっ飛んだり、自分の片月宛と格闘したり、薄いです。

「〜2」のラストから「〜3」に続くんですけど、これは違う映画って言われます。完璧なコメディ扱いされちゃいます。そういう映画です。あ、ライ三監督が直接関係してない映画が三本「新・〜」「続・〜」「〜最終章」なんですけれど、基本的に観る価値はなくて、「新」≧「続」≧「最終章」の順に酷くなります。「新・〜」は、例えて言うと、アホな人が撮ったオレ流「死霊のえじき」みたいな。「続・〜」はいま一つセンスがいい。「最終章」に至っては、薄く甚かづいていても予知不可能な程酷くて、ここまで酷過ぎるものはちねと想像できません。

本当酷い。さて、ここまで色々言いましたか。貴方、私の名前知らなくてして、避かれましたが、自己紹介します。自然二年の木村一貴。好きなバンドは「筋肉少女帯」と「人肉椅子」、漫画家は「椋岡かずも」。好きな映画はホラー、ゾンビ中心。またまたゾンビ歴二年無勉強でした。これでは、また会えたらよいですわ。